授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語(中国語2)(Chinese2)			授業コード	A030351
担当教員名	時間割確定後登録しますので入力は不要です			科目ナンバリングコード	
配当学年		開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	三分の二以上出席しなければ受験資格を喪失するので、注意して下さい。				
受講心得	語学は積み重ねです。相応に時間をかければ誰でもできるようになりますが、かけなければできません。しっかり出席しましょう。定期試験以外に小テストの提出も必要です。				
教科書	中級中国語へのアクセス　三修社、適宜プリント類				
参考文献及び指定図書	日中辞典、中日辞典(電子辞書も可)				
関連科目					

授業の目的	日中関係は政治・経済ともに変動が大きいですが、同時に引っ越しのできない隣人関係でもあり、コミュニケーションを避けることはできません。業務や日常生活においても使う機会が増え続ける中国語を学ぶことで、相互理解を促進し、自身の意見をはっきりと伝えられるようにすることが目的です。
授業の概要	「言語」を勉強するには、その言語と繋がるその民族の文化、民俗、習慣等も理解する必要があります。中国には多くの方言がありますが、本授業では『標準語』による日常会話に重点を置きます。中国語の講義と併せて、中国の文化事情、民俗風習などを紹介し、中国に対する関心と理解を深めます。 基本的な日常会話の習得と併せて、大分の簡単な紹介等もできるよう語彙を増やします。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 前期の復習(中国と中国語について、発音・文法)	配布資料
第 2 週 : (放假前) 能願動詞、「把」構文、以後毎回復習として小テストを行います。	小テスト、 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 3 週 : (旅行) 疑問詞、アスペクト	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 4 週 : (体育运动) 兼語文、結果補語	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 5 週 : (在银行) 数の用法	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 6 週 : (在邮局) 名詞述語文、可能補語	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること

第 7 週 : （打电话） 因果関係、動量詞	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 8 週 : 復習（文法）と大分の紹介	配布資料 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第 9 週 : （天气） 程度補語、仮定・譲歩、比較（1）	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第10週 : （京剧） 介詞「对」、時間状況語	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第11週 : （生病） 受身文、数量補語	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第12週 : （在宿舍） 比較（2）、構造助詞	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第13週 : （学习） 強調、繰り返し	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第14週 : （分别） 二重目的語、介詞「为」、祝福・感謝	小テスト 教科書を読んでCDを聞いておくこと、単語を覚えること
第15週 : 全体のまとめ	配布資料
第16週 : 期末試験 発音（聞き取りと発話）及び文法のテストを行います。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	中国の社会、文化、歴史に対する関心をもつこと
【知識・理解】	中国語の正しい発音と、基本的な語彙を覚えましょう。また、語順等全体的な構造を理解しましょう。
【技能・表現・コミュニケーション】	日常会話に使われる基本フレーズを応用して、自分の考えことを伝えましょう。
【思考・判断・創造】	言語はあくまでコミュニケーションのツールですので、伝えたい内容をよく吟味しましょう。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	5点		
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	50点	5点		
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	5点		
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	10点	5点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	